

物理学委員会物理教育分科会（第26期・第7回）

議事要旨

日時 令和7年7月23日（水）13時～15時

会場 オンライン開催

出席者：新永浩子委員（委員長）、横山広美委員（副委員長）、市川温子委員（世話人）
関口仁子委員、中山迅委員、渡部潤一委員、笠潤平委員（幹事）
十九浦美里氏（外部講演者：お茶の水女子大学附属高等学校教諭）、
伊藤由佳理（オブザーバー：日本学術会議数理科学委員会副委員長、同数学教育分科会委員長、東京大学国際高等研究所カブリ数物連携宇宙研究機構教授）、阿部真由美氏（オブザーバー：お茶の水女子大学附属高等学校教諭）、木村芳文氏（日本学術会議数理科学委員会数学教育分科会委員：名古屋大学多元数理科学研究科教授）、清水美憲氏（オブザーバー：日本学術会議数学教育分科会副委員長、筑波大学人間系教授）

欠席者：藤井良一委員（幹事）、板倉明子委員、早瀬潤子委員、藤澤健太委員

配布資料

資料1：【議事要旨】物理学委員会物理教育分科会（第26期・第6回）

資料2：十九浦美里先生氏報告資料（当日机上配布資料）

資料3：学術フォーラム企画案（当日机上配布資料）

資料4：学フォーラム時間割案（当日机上配布資料）

議事

（1）前回の議論の確認と報告

第6回会合（令和7年3月31日）の議事要旨を確認した。また、前回の会合後、準備中のシンポジウム企画について、開催形式を学術フォーラムとし、時期を2月21日にすることなどの議論が、本分科会の委員長、副委員長、幹事と物理学委員会の腰原伸也委員長、数理科学委員会の伊藤由佳理副委員長らとの意見交換の中でなされたので、新永委員長から経緯の報告とフォーラムの現時点での案が資料を示しながら報告された。

（2）数学分野に関する高校での実践的取り組みに関する報告と議論

十九浦美里氏（お茶の水女子大学附属高等学校教諭）より、スーパーサイエンスハイスクール指定校でもあるお茶の水大学附属高等学校（同校は全国で唯一の国立の女子校）の数学教育の取り組みと生徒の進学等の特徴等について報告がなされ、その後、同校の取り組みや女性の理系進学について質疑応答および意見交換がなされた。

（3）今期取り組むべき課題について（フォーラムに関して）および（4）今後のスケジュール

フォーラム案は8月下旬の学術会議の事務局への提出にむけて内容を確定して

いく予定であること、本分科会会合としては、秋に天文分野での宿泊型の「銀河の学校」の活動についての報告を聞く機会を設けることを考えている旨が委員長より述べられた。

(5) その他

日本学術会議ホームページ上に掲載する本会合の議事要旨の作成について、委員長に一任することを確認した。